

[JASA Member News 029 / 2022FY] 東北交流セミナー、人材育成調査、ソフトウェア開発紛争判例研究会成果報告、新型コロナウイルス対応

1 件のメッセージ

2022年7月28日 13:15

母里健一様

* このメールはJASA会員の連絡ご担当者様、ならびに受信ご希望者に送信しています。

JASA Member News 2022年度 029号をお届けいたします。

»» ぜひ各記事のご担当者様への転送をお願いいたします ««

★ 御社のビジネス情報を会員に配信いたします。

URL <https://www.jasa.or.jp/collabo-mail/>

☆ 『JASA Member News』バックナンバー照会 / 購読者の追加・削除は次のURLから

URL https://www.jasa.or.jp/archive/pr_archive/jasa-member-news/

1. 東北交流セミナー2022
2. 人材育成アンケート
3. ソフトウェア開発紛争判例研究会成果報告 その3
4. 新型コロナウイルス対応

1. 東北交流セミナー2022
(東北支部・ビジネス交流委員会)

MULTI MONO MORIOKA 活動の一環として、「岩手から発信するDX」と題し、盛岡市とJASA東北支部、ビジネス交流委員会との共催セミナーが、8月22日(月)13:30より開催されます。

「MULTI MONO MORIOKA(盛岡のIT・AI・IoT・DX・ものづくりの連携プラットフォーム)」は、盛岡市が、2021年にスタートした、ITとものづくり産業等の発展のために、全国から企業が参画し未来技術にチャレンジするプラットフォームです。

本セミナーは、岩手県内でのDX活用事例紹介などご用意しており、盛岡をはじめ東北地域のIT・ものづくり企業の皆様、盛岡で新たな取り組みを考えたい全国の企業の皆様にとって、ご興味頂けるような内容としました。皆さま、ぜひ参加ください。

開催日時 2022年8月22日(月) 13:30~16:30

開催形態 ハイブリッド型 (会場+オンライン)

開催概要

「MULTI MONO MORIOKAについて」

「腹落ちするDX(番外編)~事業創造のヒント」

「船舶ロボットで一次産業・屋外作業を自動化!」

「学内カンパニーの取り組み」

詳細・お申込み

<https://www.jasa.or.jp/lists/tohoku2022/>

2. 人材育成アンケート
(教育研修コンテンツ事業推進委員会)

昨年度より、会員の皆様のご要望される研修(技術・人材開発)を開始いたしました。2023年度以降の会員が必要とする研修を

準備すべく、改めてご要望を調査することにいたしました。

社員のスキルアップや、マネージメント能力等の人材開発など、会員の『社員育成についてのお考え』を伺い、今後のJASA主催研修企画に反映したく、Webアンケートにご協力お願いいたします。

アンケートは2本ございます。ご経営者向け(全4問)と人材育成ご担当者向けがございます。

アンケート① 経営者向け(ご回答フォーム)

<https://forms.gle/WkxEqtRy1ve1uQmr9>

アンケート② 人材育成ご担当者向け(ご回答フォーム)

<https://forms.gle/5qxQxDxxHo5yUAQe6>

回答〆切 8月19日(金)

=====

3. ソフトウェア開発紛争判例研究会成果報告 その3

(一般財団法人ソフトウェア情報センター)

判例から学ぶ DX時代のシステム開発トラブルを防ぐ知恵

～ベンダのプロジェクトマネジメント義務とユーザの協力義務～

SOFTICでは、2018年より「システム開発紛争判例研究会」を設置、システム開発紛争の判例を新旧幅広く取り上げ、債権法改正(2020年4月施行)による影響も踏まえて検討分析を行っております。その検討成果報告として、これまで、セミナー第1回(2019年7月、テーマ:契約交渉時に意識すべき問題)、第2回(2021年3月、テーマ:システム開発における仕事の完成と報酬請求)を開催し、ご好評をいただきました。

第3回となる今回は、システム開発紛争でしばしば争点になる「ベンダのプロジェクトマネジメント義務とユーザの協力義務」をテーマに開催いたします。とりわけ【仕様変更に関するユーザ、ベンダの対応】に焦点を当て、国民健康保険組合事件(東京地判平16・3・10)、旭川医大事件(札幌高判平29・8・31)等下記5判例を取り上げます。ぜひご参加ください。

開催日時 2022年10月13日(木) 13:30-16:45

開催形態 オンライン(ZOOMビデオウェビナー 使用予定)

参加費 SOFTIC賛助会員:無料、一般参加者:16,500円、アカデミックディスカウント(大学関係者(研究者/学生))8,800円

詳細・お申込み

<https://www.softic.or.jp/seminar/sysk/03/index.html>

一般財団法人ソフトウェア情報センター(SOFTIC)のご紹介

ソフトウェアプロダクトに関する普及啓発及び調査研究、ソフトウェア等の権利保護に関する調査研究、プログラム著作物に係る登録事務等を行うことにより、情報化のための基盤整備を促進し、高度情報化社会の健全な発展を図り、もって我が国の産業・経済及び文化の発展に寄与することを目的として、1986年(昭和61年)に設立されました。

設立以来、賛助会員の皆様、関係官庁・機関等からの御支援・御協力を得まして、ソフトウェア等の権利保護に関する研究調査(各種調査研究、国際シンポジウム等)、ソフトウェアプロダクトに関する普及啓発(ソフトウェア表彰、ソフトウェア・エスクロウ・エージェント業務等)、プログラムの著作物に係る登録事務ソフトウェア関連技術の動向に係る情報の収集(CSDB)、各種情報提供等を実施しております。

=====

4. 新型コロナウイルス対応

(経済産業省 情報産業課)

B.1.1.529系統(オミクロン株)濃厚接触者の特定及び行動制限並びに積極的疫学調査

濃厚接触者の待機期間について、7日間から5日間に変更し、社会機能維持者であるか否かに関わらず抗原定性検査キットを用いた検査で2日目及び3日目に陰性を確認した場合は、3日目に解除することなどとされています。

濃厚接触者の特定・行動制限をハイリスク施設に重点化することの徹底、療養期間又は待機期間解除後に職場等で勤務を開始

するに当たって職場等にPCR検査や抗原定性検査キット等による陰性証明等を提出する必要はないことの再徹底、保健所等における療養証明書の申請受付を一時中止し感染状況に応じて再開として差し支えないことなどをお示ししております。

■ 詳細 <https://jasa.or.jp/dl/gov/20220727.pdf>

お盆期間中に帰省される方への検査受検に関する周知のお願い

お盆期間中、特に帰省する場合には、地元で高齢の親族など多くの人との接触があることから、今般、お盆中に帰省する者に対し、次の呼びかけ・周知を行うこととなりました。

『帰省前及び帰省先から戻る前に検査を受けていただくこと』

- ・特に3回目未接種の方は、3回目接種を受けていただくとともに、積極的に検査を受けていただくこと
- ・上記の呼びかけに応じて行われる検査は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の検査促進枠における「ワクチン検査パッケージ・対象者全員検査等定着促進事業」（本年8月末まで）により、無料で行うことが可能であり、全国1万3千箇所以上の検査拠点において検査を受けられること
- ・お盆期間中（8月5日から8月18日まで）、主要な駅や空港等で臨時の無料検査拠点を拡充すること

____/____/ 発信元 ____/____/

一般社団法人 組込みシステム技術協会

Email jasainfo@jasa.or.jp

» 『会員向けメニュー』 会員情報変更・会員情報配信・限定サービス

URL <https://www.jasa.or.jp> (JASAホームページ最上段右手)